

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-235307(P2012-235307A)
 【公開日】平成24年11月29日(2012.11.29)
 【年通号数】公開・登録公報2012-050
 【出願番号】特願2011-102345(P2011-102345)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/387 1 0 1

B 4 1 J 5/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月23日(2014.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

描画データに含まれる所定の属性の複数のオブジェクトを抽出する抽出手段と、
前記描画データの解像度の座標系における、前記抽出手段によって抽出された複数のオブジェクトの基準画素の座標を取得する取得手段と、
前記取得手段によって取得された複数の基準画素の位相が一致するように、前記複数のオブジェクトを構成する画素の座標を補正する補正手段と
を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記補正手段によって座標が補正されたオブジェクトを含む描画データの描画処理を行う処理手段と、
前記処理手段によって描画処理された描画処理後のデータの解像度を該解像度よりも低い解像度に変換する変換手段と
を更に有することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記補正手段は、前記基準画素の座標と前記変換手段における解像度変換前後の解像度の比に基づき補正量ベクトルを算出し、該算出された補正量ベクトルを用いて前記オブジェクトを構成する画素の座標を補正することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

抽出手段が、描画データに含まれる所定の属性の複数のオブジェクトを抽出する抽出工程と、
取得手段が、前記描画データの解像度の座標系における、前記抽出工程にて抽出された複数のオブジェクトの基準画素の座標を取得する取得工程と、
補正手段が、前記取得工程にて取得された複数の基準画素の位相が一致するように、前記複数のオブジェクトを構成する画素の座標を補正する補正工程と
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項5】

コンピュータを、
描画データに含まれる所定の属性の複数のオブジェクトを抽出する抽出手段、
前記描画データの解像度の座標系における、前記抽出手段によって抽出された複数のオブジェクトの基準画素の座標を取得する取得手段、
前記取得手段によって取得された複数の基準画素の位相が一致するように、前記複数のオブジェクトを構成する画素の座標を補正する補正手段
として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するために、本発明の画像処理装置は以下の構成を有する。すなわち、画像処理装置であって、描画データに含まれる所定の属性の複数のオブジェクトを抽出する抽出手段と、前記描画データの解像度の座標系における、前記抽出手段によって抽出された複数のオブジェクトの基準画素の座標を取得する取得手段と、前記取得手段によって取得された複数の基準画素の位相が一致するように、前記複数のオブジェクトを構成する画素の座標を補正する補正手段とを有する。